

## 【参考資料2】

# 令和元年度 香南市産業振興計画の取組について (ポンチ絵)

- 農業部会…………… 1
- 林業部会…………… 2
- 水産業部会…………… 3
- 工業部会…………… 4
- 商業部会…………… 5
- 観光業部会…………… 6
- サイクリング専門委員会…………… 7
- 住宅部会…………… 8

数値目標	基準値(H26)	実績値	令和元年度目標
新規就農者数	7人		15人

現状

現況事業

H28

H29

H30

R元

令和元年度（平成31年度）の取り組み

4年後（H31年度末）の目標  
（H27年度設定）

さらなる飛躍へのポイント

基盤整備・防災

○農業生産基盤の充実（県防災減災事業）

・防災施設対策整備事業（1件）、排水機場施設整備事業（2箇所）、地域農業水利施設事業（1箇所）  
農業水利施設保全合理化事業（機能診断保全計画書の作成）、農地耕作条件改善事業（2箇所）  
土地改良施設維持管理適正化事業（1箇所）、工業用水道設備事業（2件）、  
農業集落排水整備事業（2件）を実施し、農業生産基盤の充実を図る。

○防災への対策

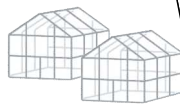
・災害時の重油タンクの流出防止を目的に、重油流出防止付装置燃料タンク整備事業を実施する。  
（目標26基）

基盤整備の強化により、本市農産物の品質を高め生産量を増やす

経営改善・担い手

○担い手対策の促進

・農業の担い手対策として次の事業を実施し、就農者の育成・拡大を図る。  
・担い手育成センター研修支援事業（目標10人）、新規就農推進事業（7人）  
農業次世代人材投資事業（10人）、農業後継者推進事業（15人）  
・H30年度に整備した次世代型研修ハウスを活用し、新規就農者の負担軽減を図る。（3棟・30ha）  
・東京や大阪で開催される新農業人フェア等へ参加し、移住・就農のPRを図る。  
・地域おこし協力隊（3人）を増員し、就農者獲得に努める。



○経営の改善への対応

・園芸用ハウス整備事業（19件）、経営所得安定対策推進事業（750件）、農地中間管理事業（5件）  
環境制御技術導入普及促進事業（19件）や産地パワーアップ事業（30件）に取り組み、生産性向上を目指す。

○農産物のブランド化の推進と加工品の開発

・農山漁村振興交付金事業を活用し、新商品の開発に取り組む。（1件）  
また、これまでの開発品の販売数拡大を図る。



○消費者の安全安心志向への対応

・学校給食の市内産野菜の使用率を上げる。（39%）

新たな担い手の確保と地域の中核となる農業者等の規模拡大を進める

- 新規就農者数 【49人】※H28～31累計
- 園芸ハウス整備面積 【60,000㎡】※H28～31累計
- 環境制御技術導入農家数 【90戸】※H28～31累計

地域農業を担う経営体の育成

生産と一体となった加工ができる体制づくりを目指す

農業者の収入につながる地域資源の加工を進める

- 学校給食への市内産野菜主要品目使用率 【39%/年】

中山間

○農地の保全と活用の促進

・中山間地域等直接支払事業（11組織）、多面的機能支払事業（10組織）の取り組みの維持を推進する。  
既存組織の協定数の維持はもちろん、組織拡大に努める。

○有害鳥獣被害対策（有害鳥獣被害に対する対策事業）

・有害鳥獣の捕獲（870頭羽）と防止策を延長（10,000㎡）し、鳥獣被害防止に貢献する。



中山間地域の資源を活かした商品開発、販路拡大を支援

集落営農の育成

- 有害鳥獣捕獲数 【3,895頭羽】※H28～31累計

新規就農者数

15人/年を目指す

- 生産性、技術の向上と、安全・安心による選ばれる産地の形成
- 一経営体あたりの収入をアップ担い手へ農地を集積
- 施設の高度化・大規模化
- 経営力のある企業的経営体を育てる
- 地域特産物の販売強化
- 農産物加工販売拠点の創出
- 農業生産品の加工・流通・販売を担う農業法人の育成
- 中山間で収入を得る仕組みを定着

6年後（H33年度末）の目指す姿

- 農で働き、香南市で暮らす
- まちづくりや他産業と連携した稼ぐ農業
- 若者からお年寄りまで笑顔で暮らせる中山間の農業の確立

地域で暮らし稼げる農業

将来

★事業化を目指す

- ・経営体育成基盤整備事業（区画整理事業）
- ・中山間地域総合整備事業（区画整理事業）
- ・排水機場耐震機能診断（耐震機能診断及び補強工事）

★加工・流通・販売などの体制を強化する

- ・高収量、高品質への取組強化
- ・生産と一体となった加工ができる体制づくり
- ・販売戦略等に対する関係機関との連携強化



数値目標	基準値(H26)	実績値	R元年度目標
森林境界明確化面積	188 ha	285 ha	600 ha 以上

現状

現況事業

H28

H29

H30

R元

令和元年度（平成31年度）の取り組み

4年後（H31年度末）の目標  
(H27年度設定)

さらなる飛躍へのポイント

基盤整備

○林業の振興

- ・H30年度に被災した各林道施設の復旧を迅速に行う。（3路線4カ所）
- ・森林道路側溝整備事業として、林道維持管理舗装修繕工事（1,000㎡）と側溝清掃（2,000m）を実施する。



森林資源保全

○林業の振興

- ・緊急間伐総合支援事業として、切捨間伐（香南市内全域で調整中 11.43ha）
- ・保育・搬出間伐（香我美町舞川・撫川・奥西川、夜須町仲木屋 20ha）
- ・作業道の整備・清掃（夜須町仲木屋 400m）、復旧3カ所を実施し、林業の保全を図る。
- ・森林の整備がスムーズに進むよう、地権者の同意を得ながら、香我美町撫川で森林所有者境界明確化事業（50ha）及び条件整備を実施する。また、森林経営計画（50ha）を作成する。
- ・森林・山村多面的機能発揮事業については、H29年度から準備・整備を行っており、本年度は事業の活用にむけて周知徹底に取り組む。
- ・H30年度に林地台帳整備事業を実施し、森林所有者等の情報の整備を行った。今年度も引き続き、情報の活用と追加更新等を行い、事業実施に活用していく。
- ・水源の森整備事業として、香我美町撫川と奥西川で間伐の搬出（10ha）を行う。
- ・森林整備推進事業として、高性能林業機械（スイングヤーダ）を1台導入する。



バイオマス

○林業の振興

- ・既存の農業ハウス用ペレットボイラー2基を活用し、林業の振興を図る。
- ・譲渡の検討を行う。



木育事業

○山や森林に親しむ機会の提供

- 新・市内小中学校の子供たちを対象とした森林学習の実施。



森林の持つ公益的機能の維持増進

- 搬出・切捨間伐 【250ha】
- 作業道整備 【13,500m】

森林の集約化と経営委託の推進

- 森林経営計画の作成 目標 2計画作成

公共事業や公共施設での県産材の利用促進

木質バイオマスエネルギーの利用促進と多面的利用の拡大

- 産業ハウス用ペレットボイラー数 【現状維持（H27.2）】

CLT建築の普及促進と林業の振興

森林境界明確化面積

600 ha 以上（累計）を目指す

- 作業システムの改善による原木生産の効率化
- 鳥獣被害対策の加速
- 森林の集約化を一層推進
- 森林資源活用加工販売拠点の創出
- 木材を含む森林資源の加工・流通・販売を担う営業法人育成
- 県産材を利用した木材住宅への支援
- 地産地消の推進

6年後（H33年度末）の目指す姿

- 原木の販売価格の安定
- 森林経営計画の樹立
- 持続可能な森林づくり
- 荒廃森林の解消
- 県産材使用住宅の普及
- 公共事業、公共施設での木材利用のさらなる推進

森林資源を活用した所得の向上と雇用の創出

将来

★林業の振興を目指す

- ・林業の生産性向上
- ・森林の保全活用
- ・作業道路の充実
- ・水源涵養機能、国土保全機能を高める
- ・林業の機械化
- ・間伐端材の有効活用
- ・人材育成

数値目標	基準値(H26)	実績値	R元年度/目標
沿岸漁業総生産量	1,313 t		1,200 t 以上

現状

現況事業

H28

H29

H30

R元

令和元年度の取り組み

4年後(R元年度/H31年度末)の目標  
(H27年度設定)

さらなる飛躍へのポイント

改修整備

○水産機能施設の整備

老朽化に伴う各種漁業用施設の改修・整備を行う。(目標2件)  
①共同作業施設(漁具倉庫)雨漏り補修、②集荷貯蔵施設(冷凍庫)機器更新

○漁港施設の整備

機能保全計画に沿った保全工事を実施し、漁業施設の整備・改修を図る。本年度の整備内容と改修率は以下を予定している。

整備事業名:水産物供給基盤機能保全事業(ストックマネジメント事業)  
住吉漁港:西防波堤(設計) 吉川漁港:船揚場(4)・護岸(東)  
整備率:38.8%(平成31年度予定 7施設/18施設=38.8%)



経営基盤強化

○新規漁業就業者の確保

**新** (一社)高知県漁業支援センターと連携及び支援制度を活用しながら、新規漁業就業者の確保に努める。(1名/年)  
(自営漁業者育成事業・漁家子弟支援事業・雇用型漁業支援事業等)

○漁場の保全

・手結地区藻場保全活動 海藻類の育成被度に努める。(目標70%)  
・赤岡・吉川掃海事業 掃海用の網の整備(赤岡・吉川各1網)



○漁業者の所得向上

・総生産量(目標1,200 t)の維持を図る。  
**新** 沿岸漁業整備投資促進事業(エンジン機器取得)による支援の実施。  
種子島周辺漁業対策事業を活用し、築いそ設置事業を実施する。  
・シラス漁の先進地視察やシラス漁に特化した話し合いの場の検討を行う。

生産・加工・流通・販売

○水産業の振興

・給食センターへ11回の食材納入と地産地消の推進及び体験学習に取り組む。  
また、シラスの学校給食納入に向けての取り組みを継続していく。  
・手結支所加工場の雇用や販売額(3,000万円)の増加を図る。  
・市内主要水産物の認知度向上(ネーミング等)に向けた取り組みの実施。



**新** 内水面漁業の振興策の掘り起こしを図る。

漁業の生産高を伸ばし漁業収入を向上

- 漁港施設の保全、改修整備率【43%】
- 水産機能施設件数【12件】
- 除去地区の海藻類育成被度【70%】
- 新規就業者(中核漁業者)確保【4名(1名/年)】

地産地消の推進

- 食育活動の展開
- 水産物ブランドの確立
- 手結加工場による給食センターへの食材納入回数【11回】

地域の雇用の場を確保

- 手結加工場の雇用数【4人】※H28~R1/H31累計
- 手結加工場の販売額【3,000万円】

沿岸漁業総生産量

1,200

t 以上維持を目指す

- 沿岸から沖合までの多面的活用
- 地場産魚としてのさらなる認知度向上
- 民間企業や新規業者が参入しやすい環境整備
- 高知県漁協の買取販売の抜本的な強化
- 買受人のさらなる連携による戦略的な外商活動の展開
- 水産品並びに観光漁業活動拠点の創出
- 水産品の加工、流通販売を担う水産法人の育成

6年後(R3年度/H33年度末)の目指す姿

- にぎわいのある漁業・漁村  
・新規就業者(中核漁業者)を16名確保
- 香南市ブランドの展開
- 加工で広がる漁村の雇用  
・水産加工業の取扱高増加  
・漁村における雇用の安定確保

資源回復と経営力の強化により稼げる水産業

将来

- ★事業化を目指す
- ★加工・流通・販売等の体制強化
- ★水産業についての学習の場づくり
- ・養殖漁業、内水面漁業の推進
- ・水産加工業の新たな事業推進
- ・水産物の加工、商品化事業の強化
- ・地域の水産業に親しむ環境づくり(教室や講習会の開催、体験学習、どろめ釜揚げ体験、市場体験等)
- ・漁業者による6次産業の事業化
- ・地域加工グループによる雇用
- ・水産加工品の販路拡大の促進

沿岸漁業総生産量

1,119 (1,058) t

(H30年)

数値目標	基準値(H26)	実績値	R元年度目標
製造品出荷額	407億円		500億円以上

現況

現況事業

H28

H29

H30

R元

令和元年度（平成31年度）の取り組み

4年後（H31年度末）の目標  
（H27年度設定）

さらなる飛躍へのポイント

ものづくりの  
基盤整備

○企業誘致の促進

- ・ 香南工業団地整備事業【目標値：1号調整池の浚渫】  
団地内及び周辺環境の整備や適切な維持管理を行う。
- ・ 香南工業団地企業立地促進事業【目標値：新規雇用者数16人（内半数は地元雇用）】  
立地企業への雇用促進及び産業の活性化を図る。
- 丸三産業(株)香南工場【目標値：操業開始に向けた安定的な工業用水の供給】  
操業開始に向けて安定的な工業用水の供給について地域や関係団体との調整に努める。
- ・ 川谷刈谷工場用地【目標値：企業誘致1社】  
企業選定後、立地に向けて円滑な操業開始となるよう、周辺の整備や雇用支援を行う。
- 旧ルネサス東駐車場【目標値：企業誘致1社】  
工場用地として取得し、分譲を行う。
- 事務系企業誘致【目標値：企業誘致2社】  
空き家・空き店舗等の物件調査を行い、ニーズに合った物件提供を行う。  
イシン(株)と連携して首都圏企業訪問を行い、早期の企業立地に努める。



○既存企業の育成・支援

- ・ 香南市香我美町立地企業交流会【目標値：懇談会の開催 年1回（※前年比参加者数の増加）】  
企業訪問による事業紹介や現状、課題の把握と新規立地企業の入会勧誘（2社）を行う  
香南市ものづくり会との合同開催を行う。
- ・ 香南市ものづくり会【目標値：懇談会の開催 年1回（※前年比参加者数の増加）】  
企業訪問により事業紹介を行うとともに、雇用や経営状況などの課題を把握し、支援策に  
反映する。  
香南市表彰制度への推薦を行うことで、ものづくり職人の更なる意欲向上を図る。
- ・ 香南市産業人材育成事業【目標値：利用件数 5件】  
企業訪問や懇談会などで事業紹介を行い、利用促進を図る。
- 香南市未来人材育成奨学金返還助成事業【目標値：利用件数 10件】  
補助金交付要綱の一部改正（改正内容：対象業種を拡充）  
企業訪問や懇談会での事業紹介を行うとともに、商工会や県内の学校と連携し利用促進を図る。
- 合同企業説明会の開催【目標値：合同企業説明会の開催 2回】  
市内施設や城山高等学校で合同企業説明会を開催することで、雇用の促進と若者の地元定住  
を図る。
- ・ 中小企業者の生産性向上支援事業【目標値：先端設備導入計画認定件数 30件】  
新規設備の支援を継続し、企業の事業拡大、雇用の創出、地域経済の活性化を目指す。

積極的な設備投資と技術力の  
強化が相まって、生産性や競争  
力が向上

- 新規企業立地件数 【5件】
- 新規雇用者数  
【160人】※H28～31累計



既存事業者の育成・支援を商工  
会と連携して推進

- 懇談会の開催  
【1回/年（継続）】

地場産業や観光施設との連携により、魅力ある商業地・商店街づくりを促進

- ミニイカイドブックへの掲載店舗数  
【200店】
- 空き店舗の新規活用件数  
【2カ所】

地域ぐるみで小規模事業者に対する面的支援（行政の行う各課の各種事業と、ポイント事業の連携推進など）

- ポイント事業の導入  
（健康スポーツ事業を取り入れる）



製造品出荷額等

500億円以上を目指す

- 企業立地の推進
- 産業発展を支える優良な工業・流通・レジャー等の産業立地誘導拠点の整備
- 企業の設備投資の促進とものづくりをリードする中堅企業の育成
- 産・官・学の連携
- 人材育成
- 次世代の成長産業の育成
- 観光型商業拠点の創出
- 地産地消・外商活動のさらなる強化と賑わいあるまちづくり

6年後（H33年度末）の目指す姿

- 競争力のある企業が育つ産業集積の拡大
- 香南ならではの技術やノウハウを活かして、存在感をアピールできるものづくり産業の創出
- 地域活性化と雇用の創出

ものづくりからの雇用拡大と地域の賑わい創出

製造品出荷額等

397億円（H29年度実績）

ものづくり

数値目標	基準値(H26)	実績値	R元年度目標
製造品出荷額	407億円		500億円以上

現況

現況事業

H28

H29

H30

R元

令和元年度（平成31年度）の取り組み

4年後（H31年度末）の目標  
(H27年度設定)

さらなる飛躍へのポイント

### ○既存企業の育成・支援

- ・香南市緊急融資保証料補給金事業について、金融機関等で制度の周知を図る。  
(目標2件)
- ・魅力ある商業地・商店街づくりとして「街パルイベント」を開催する。  
(パル参加店舗数の増加を目指す)

**新** 事業者向けセミナーを開催し、事業者の学びの場の創出を図る。(1回)

**拡** 空き店舗等対策事業費補助金については、補助要綱を一部改正（補助対象者および対象経費等）し、制度制度が活用されるようPRに一層努め、空き店舗の解消につなげる。  
(2件)

・高知県事業継承ネットワーク事務局と商工会の連携による事業継承診断（60歳以上の経営者を対象）を引き続き実施する。(30件)

・創業支援について、H27年度に策定した支援計画の見直しを行い、創業支援の内容の見直しと、引き続き、創業に関するワンストップ窓口（創業に関する商工水産課と商工会）の利用促進を図る。(35件)

**新** 創業支援計画は認定期間終了を前に、創業者が安心して香南市で起業するための相談体制を整え、創業後も長く事業を続けられるよう、事業内容の見直しやブラッシュアップを実施する。

**新** キャッシュレス化などに向けて取り組む事業者への支援の検討を実施。

・香南市創業支援利子補給金交付事業については、市内金融機関9カ所に本事業の周知を行い、利用者の増加につなげていく。(3件)

商業



地場産業や観光施設との連携により、魅力ある商業地・商店街づくりを促進

●コミュニティブックへの掲載店舗数【200店】

●空き店舗の新規活用件数【2カ所】

地域ぐるみで小規模事業者に対する面的支援（行政の行う各課の各種事業と、ポイント事業の連携推進など）

●ポイント事業の導入（健康ポイント事業を取り入れる）



製造品出荷額等

500億円以上を目指す

- 企業の設備投資の促進ともものづくりをリードする中堅企業の育成
- 産・官・学の連携
- 人材育成
- 次世代の成長産業の育成
- 観光型商業拠点の創出
- 地産地消・外商活動のさらなる強化と賑わいあるまちづくり

6年後（H33年度末）の目指す姿

- 競争力のある企業が育つ産業集積の拡大
- 香南ならではの技術やノウハウを活かして、存在感をアピールできるものづくり産業の創出
- 地域活性化と雇用の創出

ものづくりからの雇用拡大と地域の賑わい創出

製造品出荷額等

397億円（H29年度実績）

商業支援

数値目標	基準値(H26)	実績値	R元年度末目標
観光施設入込客数	93万人以上		120万人以上

現況

現況事業

H28

H29

H30

R元

令和元年度（平成31年度）の取り組み

4年後（H31年度末）の目標  
(H27年度設定)

さらなる飛躍へのポイント

観光拠点の形成  
核となる

○新たな観光拠点の整備

・三宝山エリア観光拠点化事業は、基本計画の整備計画について見直しを行い、三宝山中腹やふもとの観光施設との連携や風力発電施設跡地等を活用する等、三宝山エリア全体での観光拠点化を目指す。

**新** H30年度から取り組みを進めている、ヤ・シィパーク周辺地域の活性化については、グランドデザインに基づいた整備とヤ・シィパークのロケーションを活かした体験を提供する。  
・manamanaの取組については、新商品の提案や販路開拓を行い、54,192千円の売上高を目指す。



核となる観光拠点の整備

●三宝山周辺観光客数  
【年間10万人以上】



広域観光の推進

○観光の振興

・「志国高知 幕末維新博」が閉幕となることから、幕末維新博対象施設（絵金蔵・アトラクト）への入込数の減少が想定されるが、継続した企画展の展開やイベントと連動した夜間会館などに取り組みから、115,500人の入込数を目指す。  
・観光施設連絡会を開催（4回）し、各施設の情報共有を図る。  
・体験型観光商品の磨き上げや開発、歴史・食・体験等を絡めた観光クラスターの形成を図る。  
・引き続き、歌舞伎でのまちおこし（参加者1,200人）や、塩の道を活用した取り組み（650人）を開催していく。  
・サイクリングを活用した観光の振興については、別記載とする。  
・物部川エリア広域観光連携事業として、DMO協議会と香南市観光協会と連携したセールス活動と、3市の広域観光組織として、3市が持つ歴史・自然・体験・食などを生かした後期観光クラスターの形成に取組み、広域観光施設（9箇所）で739,500人の入れ込み客数を目指す。また、旅行業第3種を取得し、誘客促進や観光消費額の増加を目指す。  
・香南市ギフトカタログの販売促進に努める。  
（カタログ販売額+ふるさと納税販売額 104,200千円）  
・地域まるごと旅行商品の開発販売及びランドオペレーター機能構築事業として、体験モニターに実施やこれまでに活用できていない地域の素材を使ったイベントを開催し、市内7施設の誘客数の増加を図る。（700,000人）



観光資源の発掘及び磨上げの推進

広域観光の推進

●主要観光施設入込数  
【732,500人】

観光施設の連携促進

●観光施設連絡会の開催【4回/年】

効果的な広報及びセールス活動の推進

人材の育成

サイクリング事業の拡大

●サイクリングコース数【6】-1

人材の育成

○おもてなしの向上

・まちあるきガイドの会員増に向けた勧誘に取組み、組織体制の強化を図る。また、ガイド人育成の勉強会や研修会を開催する。（案内人26人）

国際観光の推進

○外国人観光客の受入体制づくり

・外国人受け入れ体制づくりとして、高知県おもてなし課の事業を活用し、外国人観光客受入研修を実施（8/30 12施設18人参加 個別研修 9施設参加）。また、絵金蔵においても、外国人観光客の団体客を受入。（4/25 72人・10/8 99人）  
**新** 多言語対応パンフレットの作成及び県内主要施設での配布。



おもてなし意識向上

香南市情報発信及び  
外商活動の拡大

国際観光の推進

●公衆無料Wi-Fi整備箇所  
【6カ所】

観光施設入込客数

120万人以上を目指す

- 全国に通用する核となる観光・商業活性化拠点の形成とネットワーク構築
- 三日以上滞在できる質の高い観光地づくり
- 高知龍馬空港などからのアクセスシビリティの向上
- 市内交通アクセスの充実
- ヘビーリピーターの拡大（年に2回以上）
- おもてなし意識の醸成

6年後（H33年度末）の目指す姿

- 観光立市として、市民にもその意識が定着している
- 高知家のトッパランナーとなる
- 「歴史」、「食」、「文化」など、本市が持つ優位性が観光地づくりに生かされ、国内外から市内各地に観光客が訪れることで、地域の活性化につながっている
- 本市が持つ個性に県外客が惹かれ、リピーターとなって繰り返し訪れているとともに、中長期の滞在も進んでいる
- 観光拠点間を結ぶ交通アクセスの進展に伴い、様々な形の周遊観光が根付いている

地域の魅力が人を誘う、世界に通じる観光産業

106.9万人（H30年暦年）

数値目標	基準値(H26)	実績値	R元年度末目標
レンタサイクル利用者数	-		2,300人

現状

現況事業

H28

H29

H30

R元

令和元年度（平成31年度）の取り組み

H31年度末の目標  
(H30年度設定)

さらなる飛躍へのポイント

自転車を活用した  
観光への取組

## ○サイクリング事業の推進

- ・既存イベントを引き続き開催し、地域への定着と参加者の定着増加を目指す。(イベント参加者数 500人)
- ・観光客誘致と香南市のPRに繋げるイベントの開催
- ・サイクリングコースを設定する(新規2コース)
- ・H30年度に設立した、市内のサイクリストを中心としたチーム「Maze-Cle (マゼクル)」と連携して、イベントや自転車に対するPR活動を実施する。
- ・香南市サイクリングのキャッチフレーズを作成し、パンフレットや動画などで活用し、PR強化に繋げる。
- ・レンタサイクルの利用者数について、2,300人を目指す。
- ・環境整備として、サイクリングコースのブルーラインの敷設協議を進め、整備を行う。(3コース) また、サイクルオアシスについては、宿泊施設や観光施設だけでなく、飲食店などへも設置できるように取り組む。(新規5件)

香南市を県内のサイクリング先進地として確立・認知してもらう  
(香南市をブランド化)障害者や高齢者等への  
スポーツ推進

## ○タンDEM自転車の利用促進

- ・従来のものより小型のタンDEM自転車を2台購入し、幅広い層に使用していただき、利用者及び利用件数の増加を図る。(利用件数 50件)
- ・視覚障害者や高齢者でも自転車を楽しめる環境整備として、引き続き、パイロットの育成講習会を実施する。(パイロット 10人) 併せて人材を確保したパイロットバンクの検討を行う。
- 新** タンDEM自転車活用のPRとして、活用していただけそうな課や施設へPRを行い、活用機会拡大を目指す。

タンDEM自転車の活用を進め、利用者を増やす

健康増進と環境に  
配慮した取組

## ○健康と環境の啓発

- ・健康対策課と連携し健康パスポート事業の一環として、健康サイクリングを開催。(4回)
- ・香南市地球温暖化対策実行計画に定めている、H32年度実施予定のエコ通勤キャンペーン(仮称)に向け、担当課と協議し、内容を整理していく。また、自転車通勤者増加のための取り組みを協議する。

市民に対して自転車利用への関心を高める

自転車の安全利用  
を促進する取組

## ○交通マナーや交通事故等へのリスクの啓発

- ・レンタサイクル利用時のヘルメット着用率100%を目指す。(料金体系を整理・変更の協議)
- 新** 事故発生箇所や危険箇所の調査を行い、危険箇所マップを作成する。必要な対策の実施や安全教室等を開催し、交通事故に対する啓発につなげる。

自転車利用者の安心安全を確保する

市民に対して自転車利用への関心を高める

レンタサイクル利用者数  
2,300人以上  
を目指す

- 香南市のブランド化
  - ・ 香南市でないと体験できないサイクリング事業を展開

↓  
香南市を「サイクリングのまち」として認知してもらう

- 公共交通との連携
  - ・ 輪行できる公共交通を増やすことで、2次交通の手段として自転車をアピール
- 宿泊施設の整備・連携

H33年度末の目指す姿

- サイクリングのまちとして、市民・観光客・サイクリストが認識している
- 自転車が生活の一部であり、商売道具であり、広告塔
- サイクルツーリズムの構築
- 多分野と連携した自転車利用

サイクリング  
環境の創出による  
地域活性レンタサイクル利用者数  
2,156人  
(H30 暦年)



現状

令和元年度（平成31年度）の取り組み

H28

H29

H30

R元

4年後の目標  
(H31年度末)

さらなる飛躍へのポイント

現況事業

住環境の整備

- 住宅リフォーム補助金制度…75件
  - ・市内に所有し、居住する個人住宅を対象に、住宅のリフォーム工事を行った場合に、その工事費用（消費税抜き）の20%（下限:10万円以上の工事・上限:100万円以上の工事は一律20万円）を補助
  - ・市内に本社または本店を有する施工業者または市内に住所を有する個人の施工業者による工事
  - ・市内施工業者がわからない場合、高知県建設労働組合香南支部に協力を依頼。
  - ・上限額である20万の利用にとどいていない方は再度補助申請可能とする。（H31より）



住まいの質の向上

市営住宅の住環境整備

- 単独浄化槽を合併浄化槽に変更と手すりの設置  
改良住宅 98棟
- 長寿命化に向けて屋根外壁改修工事  
改良住宅 10棟

市営住宅の整備

- 市営住宅の整備…30件
  - ・「香南市市営住宅管理計画（香南市公営住宅等長寿命化計画）」を策定
  - ・改良住宅ストック総合改善事業  
環境保全のため単独浄化槽を合併浄化槽に変更  
福祉対応型に向けて手すりの設置
  - ・市営住宅単独事業：住み替え対策

住宅の耐震化

- 南海トラフ地震への備え
  - ・住宅耐震診断事業…120件  
木造住宅…診断費用の自己負担3千円、非木造住宅…3万円補助
  - ・住宅耐震改修費補助事業…設計90件 / 工事90件  
香南市「住宅耐震診断事業」による耐震診断を受診し、総合評点数が1.0未満と診断された住宅に対して、設計及び改修費用を補助（設計1棟あたり305千円、改修1棟あたり1,000千円を限度）
  - ・コンクリートブロック塀耐震対策事業…30件  
避難路等に面している危険性の高いコンクリートブロック塀等を撤去したり、安全なフェンスなどに造り替える経費に対して補助（上限205千円）



災害に強いまちづくり

- 耐震診断件数 1,303件

空き家対策

- 老朽化した住宅等の除去…40件
  - ・老朽住宅等除却事業  
避難路等に面している又は延焼等により近隣住宅に影響する場所に存在する著しく老朽化した住宅等の除却に要する経費に対して補助。（補助率80%、上限1,645千円）
- 移住者向け住宅の確保と促進
  - ①香南市ウエルカム移住・定住促進事業（空き家バンク事業）…のべ40棟
    - ・空き家所有者から活用可能な空き家を市が10年間借り上げ、改修し、定住の意思がある希望者に市から貸し出す。
  - ②香南市空き家改修事業費等補助金
    - ・市の空き家バンクに登録し、登録物件が貸借や売買の相手が決まった場合、空き家の所有者または、空き家を使用する移住者に対して耐震化を必須とし、断熱改修・トイレの水洗化等、住宅性能の向上のためのリフォームに要する費用や、空き家の荷物整理処分費を補助
      - ・改修事業費補助（補助率10/10以内、上限1,824千円） … 3件
      - ・耐震性のある場合、畳の表替え等の軽微な修繕費用を補助 … 2件  
（補助率10/10以内）利用者が県外移住者 上限 200千円 財源：県1/2・市1/2  
利用者が県内市外移住者 上限 100千円 財源：市単独事業



「移住・定住促進」の仕組みづくり

- 市外から移住者 20組 ※H28～31累計
- 空き家バンク登録数 25棟 ※H28～31累計



住宅関連産業の振興及び事業者の所得向上

- 各支援策の充実
- 市営住宅の長寿命化

6年後の目指す姿  
(H33年度末)

- ・地域経済の活性化
- ・市民の生活環境の向上

香南市に安心して  
住み続けてもらう  
定住環境の充実